

「この人に会いました」

今度新しく中子にオープンした苗場福祉会の「健康倶楽部ゆざわ」を訪問し、石田本部長さんにお話を伺いました。



社会福祉法人苗場福祉会
事業本部長
石田タマエさん

この度、「健康倶楽部ゆざわ」が町内中子の地に、上村町長様並びに町議会議員の皆様はじめ、町民の皆様方の温かいご理解とご支援を頂き、開設出来ましたことに厚くお礼申し上げます。

苗場福祉会について

社会福祉法人苗場福祉会は、高齢化に対応した福祉施設を計画していた津南町と私どもの理事長とが、将来の地域医療福祉の理念が一致したことから、平成5年に津南町で産声をあげました。

当法人の理事長は、これまで銀座で開業医を営む一方、今後の高齢化社会を見据えて、地域医療福祉施設を全国展開しております。そして法人の運営理念であります「自らが受ける医療と福祉の創造」を目指して15年間運営をして参りました。

苗場福祉会の組織

津南町で社会福祉法人として設立した翌年の6年に、老人保険施設を開設したのを皮切りに、ケアハウス、グループホーム等を開設し、介護保険制度のもとに通所リハビリテーション等在宅支援サービスにも力を入れてきております。更に誰もが利用できる「温泉利用型健康増進施設クアハウス津南」を津南町より、指定管理者として受託し運営を行っております。

そして子供の体力づくりから一般町民の健康増進と高齢者等の寝たきり予防、介護が必要になっても支援可能な環境づくりの一端を担っております。

更に、平成15年度からは、十日町市で二箇所、小千谷市川口町の各市町で認知症対応型生活介護施設と在宅支援サービスを推進し、南魚沼地域においては、平成19年1月に特別養護老人ホームを開設してきました。又、平成19年度からは、千葉県船橋市で、特別養護老人ホームと認知症対応型生活介護、通所介護等の複合施設を運営して、本年4月にこの地、湯沢町に認知症対応型生活介護と小規模多機能型居宅介護の複合施設「健康倶楽部ゆざわ」を開設させ

て頂きました。以上のとおり地域それぞれの特性を見極め、サービスの専門性を追求しながら、地域に密着した施設運営を進めております。

健康倶楽部ゆざわの運営方針

- ① 当法人の運営方針の下で、ご利用者が安心して生活出来るよう、本年度は次の三つを重点に推進して参ります。
- ② 地域密着型サービス施設として地域に開かれた施設づくりを目指します。
- ③ 地域に信頼される人材の育成を図ります。
- ④ ご利用者お一人お一人に適した質の高いサービスを追求します。

湯沢町にお願うこと

「健康倶楽部ゆざわ」は湯沢町において、初めての地域密着型サービス施設です。事業運営にあたりましては、行政はじめ町民の皆様と共に考え、より地域に即した施設運営を図っていきたく考えておりますので、機会がある毎にご意見ご指導を賜りたくお願い申し上げます。

今後の苗場福祉会の進むべき方向

誰しもが「住み慣れた地域で、家族や馴染みの人達と最後まで暮らしたい」との思いは同じだと思います。けれども、それぞれの事情で介護が必要になったら施設を希

望せざるを得ないのが現実です。今後、私たち事業者は、ご家族と地域の付託に応えていく、環境整備を実施することが責務だと考えております。

この度開設の地域密着型施設は、各市町村の実状を踏まえ「住み馴れた地域で暮らし続けること」を可能にできるものと考えます。当苗場福祉会は、湯沢町並びに町民の皆様のご要望に少しでも貢献出来るよう、努力する所存でございますので、皆様の特段のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

★インタビューを終えて

新しい施設の中で石田本部長さんをはじめ職員の皆様が入所者の方々と楽しく語りくつろいでいる姿を見て心暖まる思いがしました。

今後共、更に地域の皆様に愛される施設となることを望みます。

議会広報特別委員会
委員長 柿崎直治
委員 師田 保



「絆（きずな）」

3月21日、当初予算が決まり、帰宅すると「ねんきん特別便」が届いていた。国会は道路特定財源をめぐる空転が続く。

4月、元気なあいさつの声が届く。期待や不安が入り混じる新学期、希望に胸を膨らませた新生活が始まった。

この季節、いち早く咲くさくら。かおりをのせてそよぐ風が気持ちいい。里山は、こぶしやカタクリの花が咲き食卓にはふきのとう、ごみやうどなどの恵が並ぶ。水の冷たさも緩み農機がうなる。虫や動物が一斉に動き出した。

友達から写生会の誘いが届いた。5月24日「新緑の妙高山」とある。キャンバスを詰め、6年ぶりの旅行となるか。

いつもの春、あたりまえの春、待ち焦がれた春が来た。

広報委員 南雲和夫



編集

湯沢町議会
広報常任委員会